

2024年度 ニチキッズまつえ上乃木保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月6日（月）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月3日（月）・12日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添うことを大切にした。子どもの個性や能力が発揮できる言葉かけや環境を整えることを心掛けた。
子どもの発達援助	子ども一人ひとりの姿を認め、発達段階や情緒面など把握しミーティング等を行、全職員が同じ関わり方や援助に努めた。また、子どもの発達を捉えた活動内容や環境づくりを大切に、今後も心身ともに適切な援助を継続していく必要があるといえる。
保護者に対する支援	送迎の際には、その日の姿を丁寧に伝え日々のコミュニケーションを大切にした。また、さまざまな行事を通して保育者と保護者との交流を実施した。地域の保護者に対して、子育て広場などを通して支援を行った。
保育を支える組織的基盤	ミーティングや職員会を通して、全職員が子どもの姿を話合う機会を設け保育に活かした。また保育の質の向上、職員の資質の向上に向けて外部の園内研修に積極的に参加し全職員で共有し実践につなげた。

総評
保育理念や保育方針を理解した上で、子どもの発達に沿った保育計画を立て実践した。 子どもを主体とした丁寧な保育を、職員間で共通理解しながら日々保育に努めることができた。 今後も子ども一人ひとりを認めながら、安心安全に過ごせる環境を継続して見直し・改善をする必要がある。また保護者とのコミュニケーション大切にし、相談対応など気持ちに寄り添いながら信頼関係を築いていきたい。